

# 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立竹園小学校
-----	------------

## 1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>「我が国の言語文化に関する事項」については、漢字や仮名の大きさ、配列に注意して、書くことができている。</li> <li>「読むこと」については、登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択式、記述式に関わらず、無回答が一定数いること。</li> <li>文章全体の構成や展開を明確に捉えること。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>「数と計算」については、二つの数の公倍数を使って求めることができている。</li> <li>「図形」については、意味や性質を基に、角の大きさや構成の仕方について考察し、記述することが概ねできている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>二つの数量が比例の関係にあることを用いて、未知の数量を求めること。</li> <li>分類整理されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察することや、必要な情報を読み取ること。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>「物質(粒子)」については、予想に対して、実験の結果を基に考察し、自分の考えをもつことができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験や観察の結果を多面的に見たり捉えたりすること。</li> <li>用具の名称や用途を理解すること。</li> </ul>
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校に行くことを楽しいと思っている児童が多い。</li> <li>朝食を毎日食べている児童が多い。</li> <li>国語や算数の勉強は大切であり、学習したことが将来社会に出たときに役に立つと思っている児童が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1日あたりのテレビゲームやスマートフォンを使用する時間が長いこと。</li> <li>自分で決めたことを最後までやり遂げること。</li> <li>困っている人に対して、進んで助けようとする事。</li> <li>家で計画を立てて勉強すること。</li> </ul>

### 2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p><b>【国語】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにするために、読書タイムの活用や、家庭での読書を促すなどして、文章全体を深く読み解く時間を多く設け、理解につなげられるようにする。</li> </ul> <p><b>【算数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>変化と関係、データの活用などが課題という結果から、日常生活に結びつけて考えられるよう、例題の工夫や場面設定をし、実生活でも活用しながら確認することで定着を図る。また、モジュールや家庭学習の時間を活用して、基礎的・基本的な知識・技能の向上につながるようにする。</li> </ul> <p><b>【理科】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観察や実験をして、学習のまとめを行う際に、観察や実験の結果を具体的な数値として学級内で共有し、自分や他者の気づきを基に差異点や共通点を捉え、それを分析した内容を根拠として表現する場面を設定していく。</li> </ul>
---

### 2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<p>日頃より、本校の教育活動にご支援、ご協力をいただきありがとうございます。令和4年度の全国学力・学習状況調査の結果の分析をもとに、主な傾向やお願いしたいことについてお知らせします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響もあるかもしれませんが、「生活習慣の乱れ」「勉強に対する不安を感じる」「1日の中でゲームをしている時間が長い」傾向が見られました。ゲームやタブレット、スマートフォンなどの情報機器に触れる機会が多く、放課後の過ごし方の中でも中心的なものへと変わってきています。情報モラル教育に学校でも取り組みますが、ご家庭でも使用上のルールやマナーについての確認をお願いします。</li> <li>・目標に向かって粘り強く取り組む姿勢を育むために、スモールステップで課題をクリアしていく体験を重ね、自信をもてるようにしていきたいと思っております。</li> <li>・調査結果を踏まえ、子どもたちの成長につながるよう、学校でもさらに指導をしていきますので、引き続きご家庭や地域の方々のご協力をお願いします。</li> </ul>
---